

J A和牛ファーム福島さくらへの復興ファンド出資および融資について ～地域の和牛生産基盤の維持・拡大に向けた和牛繁殖事業を支援～

農林中央金庫（略称：農林中金）福島支店とアグリビジネス投資育成株式会社（以下「アグリ社」という。）は連携して、田村市常葉町で和牛繁殖事業を目的に設立した株式会社 J A和牛ファーム福島さくら（以下「当社」という。）に対して、復興ファンド¹を出資しました。また、農林中金と日本政策金融公庫（略称：日本公庫）福島支店農林水産事業は連携して、当社の分娩・育成牛舎などの和牛繁殖用飼養管理施設建設の資金、および素牛導入資金等の融資を行いましたので、お知らせします。

○ 経営環境の変化に対応

当社は平成 30 年 3 月に設立した新設法人です。当社が位置する福島県田村市は畜産が盛んな地域で、地域経済の中で重要な役割を担っています。しかしながら、東日本大震災及び原発事故の影響や畜産農家の高齢化の進展が要因となり、和牛繁殖農家の廃業が後を絶たず、和牛生産基盤の弱体化に歯止めがかかっていない状況にあります。当社は、このような状況を打開すべく JA 福島さくら主導で、地域の和牛生産基盤の維持・拡大に寄与することを目的に、和牛子牛の繁殖事業、および繁殖母牛・和牛子牛の預託事業を行うため子会社を設立したものです。資本金は、JA 福島さくら、およびアグリ社の復興ファンドなどから調達し、今春、分娩・育成牛舎などの和牛繁殖用飼養管理施設が完成し、この 4 月から本格的に和牛繁殖事業等を開始することになりました。

○ 農林中金・日本公庫が連携して農業を支援

今回の事業にあたっては、平成 30 年度農林業振興事業補助金（福島県東日本大震災農業生産対策交付金）を活用するほか、農林中金は、当社の事業構想をふまえた資金計画策定の支援などを実施。日本公庫は、農林中金と連携して当社の事業計画の将来性などを評価し、和牛繁殖用飼養管理施設の建設資金、および素牛導入等資金の融資を行いました。

農林中金及び日本公庫は、今後とも経営支援や融資を通して、農業の成長産業化に向けた取組みを積極的に支援して参ります。

¹ 「復興ファンド」とは、東日本大震災で被災された農林水産業者のみなさま向けに、長期にわたり安定した支援を行うため、農林中央金庫が平成 23 年に創設したものです。

(参 考)

支援先の概要

事 業 者	株式会社 J A 和牛ファーム福島さくら
代 表 者	管野 啓二
所 在 地	福島県田村市常葉町常葉字上野2番地
設立年月日	平成30年3月1日
資 本 金	6,020万円
事 業 内 容	和牛子牛の繁殖事業、および繁殖母牛・和牛子牛の預託事業
事 業 規 模	・今回取得した和牛繁殖用飼養管理施設は、分娩・育成牛舎、繁殖牛舎、預託牛舎、哺育牛舎、堆肥舎、管理棟、飼料庫の計7棟。 ・母牛は100頭、繁殖子牛は年間97頭を出荷する計画、また農家から預かる預託牛は母牛30頭、育成子牛50頭を計画。

<お問い合わせ先>

○農林中央金庫福島支店営業第二班 ℡：024-552-5606（八島、鹿山）
〒960-0231 福島県飯坂町平野字三枚長1-1

○日本政策金融公庫福島支店農林水産事業 ℡：024-521-3328（藤丸）
〒960-8031 福島県福島市栄町6-6 NBFユニックスビル3階